

1 『執着αはβの私と番になりたい〜勘違いから始まった片思い』

2 ■世界観

3 「オメガバース」とは

4 男女という生物学的な性別の他に、α（アルファ）、β（ベータ）、γ（オメガ）の3つの  
5 性が存在。この3つの性を「第二の性」と呼び、これらには序列が存在する。

6 αは「第二の性」の階級の中で最高位に君臨し、身体能力・知能が高くなりやすい、  
7 いわばエリート階級。

8 発情中のγとの接触は、どんなに理性的なαであっても抗しきれない強烈な発情状態を引  
9 き起こし、時に暴力的なまでの性交に及びかねないため、この性質を嫌悪するαもいる。

10 βはαに次ぐ階級で最も人数が多く、いわゆる平凡な人。

11 発情期も存在せず、γの発情に誘惑される事もあるが、αほどの激しい反応は起こらず、  
12 自制も可能。中にはフェロモンがまったく効かない人もいる。

13 γは最も低い階級で、希少な存在。

14 周期的なヒート（≡発情期）が起こり、自身の意に反してαを誘惑・発情させるフェロモ  
15 ンを発する。通常の生活を送ることが難しいため、社会的に冷遇されている。

16 「ヒート」とは

17 γに周期的に訪れる発情期。強烈なフェロモンを発し、繁殖行為以外手につかなくなる。

18 「ラット」とは

19 γの発情期があるように、αの発情期は「ラット」と呼ばれている。

20 「ラット」中自分の番への庇護欲が過剰なくらい増して威嚇的で攻撃的になる、  
21 抱き締めたまま離さない、誰にも見せない、近付くことさえ許さないなど、  
22 周囲への態度が急激に変わる場合もある。

23 「番（つがい）」とは

24 ヒート状態のγがαにうなじを囁まれると「番」と呼ばれる関係になる。

1    αとの「番」が成立することで発情が変質し、フェロモンを放出しなくなる、  
2    またはヒートそのものが収まる場合もある。

3    4    「運命の番」とは

5    通常の「番」とは異なり、本能的に惹かれ合う非常に強固な関係性。

6    7    8    ■キャラクター詳細

9    10   ●主人公

11   12   名前…一ノ瀬 樹（いちのせ いつき）

13   年齢…22歳

14   身長…180cm

15   α。一流大学医学部学生。

16   代々医者の家系で、富裕だが家族関係は淡泊。

17   βとγに偏見はなく、学校にもαとγの友達がたくさんいる。

18   最近αの友人が骨折し、その友人の代わりにアルバイトをしていたが、  
19   バイト中ヒロインに出会い、ヒロインを好きになった。

20   21   育ちが良く、普段は優しいが、本質的にはαであり、  
22   好きな人や物に強い支配欲を持っている。

23   24   25   ●ヒロイン

26   27   年齢…21歳

28   β。歯科衛生士専門学校学生。

29   αの母親は自分を産んだ後、運命の番に出会い、父と自分を捨てました。  
30   その後は同じαの父と暮らしている。

31   αとγは自分と同じ人間ではないと思い、ずっと距離を置いる。

32   33   同じαの人と結婚して子どもを産んで、普通の幸せな生活を望んでいる。

1 ■あらすじ

2 優しい樹くんも同じだと思っているが、

3 彼は「ウチは代々、 $\alpha$ で医者の家系です」と告白。

4 何度も確認した後、あなたは

5 「 $\alpha$ と $\beta$ は結ばれる運命」、

6 「 $\beta$ の私は $\alpha$ の愛を受け入れることができない」

7 とか言い出して、思い切って彼を拒絶。

8 数日後、他の $\beta$ のヒートに影響された樹は、

9 何とか意識を持つてあなたのもとに、

10 しかし、まもなく彼は理性を維持できなくなる……

11 樹くんは執拗に番行為を行っており、

12 心身ともに苦しんでいる $\alpha$ であるあなたとは違い、

13 樹くんはやつとあなたを手に入れたことを幸せに思っている。

14 樹くんの執着を感じて、

15 あなたは悲しみと恐怖を感じながら、

16 心の中に少し優越感を持ち始める。

17 思いがすれ違う二人、

18 相手の本当の愛を得られないと思っっている二人、

19 お互いを手放せない二人、

20 苦しみながら体を重ねる二人……

■トラック1

※樹はヒロインに告白したが、ヒロインに断られた。

○場所…バイト先のバックヤード(昼)

【ヒロイン『……すみません……』】

【樹、困惑した様子でヒロインに詰め寄る】

D H M …①

樹「(ショックを受けた様子で) どうして、俺じゃダメなんですか…

そりゃ、俺は骨折した友達の代わりに、少ない間しかここにバイトに来てないし……  
あなたとも、まだ知り合って数ヵ月だけど……でも、この気持ちは本物なんです！  
わかってください！ 俺は……あなたのことが……」

【ヒロイン『すみません、私が勘違いしました。ずっと樹くんを💩だと……』】

樹「……え、(小声で) 俺に親切にしたのも、俺を💩だと勘違いを……

(何かを思い出すように、小声で) 道理で他の💩にはそんなに冷たいのに……  
俺だけが特別だと思って……」

【ヒロイン『樹くんは優しいからこんな勘違いを……樹くんは、💩ですよね……』】

樹「その、たしかにウチは代々、💩で医者の家系です。俺も医大に通ってる。

……だからって、それがフラれる理由になりますか？  
俺は💩だから付き合えないってことですか……？」

【ヒロイン『それは……樹くんは💩で私は💩ですから……』】

樹「……あ！ 階級差が心配なら、気にしないでください。

俺は💩と💩に偏見を持ってないです。

ほら、💩の友達のためにバイトに来てるじゃないですか……」

1 【ヒロイン『私の母も♀だった！……』】

2 樹「あなたのお母様も♀だった？ でも、あなたの性別は♂ですよ……

3 たしかに、♀の家系にもたまに♂は産まれるけど……」

4 【ヒロイン『父は♂です……』】

5 樹「あ、お父様が♂なんですネ。すみません……」

6 【ヒロイン『母は私を産んだ後、運命の番に出会ったという一言を残して家族を捨てた……』】

7 樹「（悲しそうに）♀のお母様は運命の番を見つけて、自分と父を捨てた……」

8 【ヒロイン『樹くんにも運命の人がいますから、その人と幸せになってください……』】

9 樹「俺にも、あなたのお母様のように運命の人がいる？

10 その人と幸せになってください？ なんなんですか、それ……」

11 【樹、ヒロインに迫る。】

12 SE：樹の足音

13 DHM…①寄り

14 樹「（激昂した様子で）こんなフラれ方、納得できません！

15 たしかに俺は、♀で♂のフェロモンに当てられそうになったこともあります！

16 でも、好きなのはあなただけだ。信じてください！」

17 【ヒロイン『もう、諦めてください！ 樹くんを嫌いになりたくないです……』】

18 樹「……あ、……（打ちのめされた様子で）諦めて欲しいって…

19 そんな、俺が♀だからダメって…？

20 あなたと違って、運命の番がいる存在だから…？

21 （泣きそに、苦笑い）……そんなの、あんまりです……」

33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

（3秒の間）

【樹、ヒロインから離れ】

SE：樹の足音

D H M：⑨

樹「……（長いため息のあと数秒の間）でも、

（苦笑い）人の気持ちはどうしようもないですね…

（悲しそうに、無力な感じ）すみません。今日のことは忘れてください……

本当に、ご迷惑をかけました……」

【樹、離れる。】

SE：樹の足音でフェードアウト

1 ■トラック2

※数日後、発情する樹、アパートの前でヒロインを待ち伏せ  
○場所…ヒロインのアパートの近く（昼）

【ヒロイン買い物を終えて家に帰る途中】

SE: ヒロインの足音 ゆっくり歩く

【道端で体調が悪そうな樹】

DHM: ⑨少し遠め

樹「……（息苦しそうに）はあ、はあ、もう……」

【ヒロインは樹を気づき、彼のもとへ】

SE: ヒロインの足音 走る

【ヒロイン『樹くん？どうしたの？体調が悪いですか。』】

DHM: ①

樹「……はあ、あー……あなたは……」

（息苦しそうに）大丈夫です、少し熱が……あ！」

【樹、めまいがして、立ってられない様子。彼を支えるヒロイン】

【ヒロイン『樹くん危ない！』】

SE: 衣擦れ音

DHM: ①寄り

樹「（息苦しそうに）……はあ、ありがとう……支えてくれて……ちよとめまいが……」

（苦笑い）はは……本当にお人好しですね、あなた……

振った相手にも、まだこんなに親切に……」

樹「（小声で）やっぱりあなたは隙だらけだ……

まあ、俺もそんなあなたに惹かれたんだけど……」

【ヒロイン『え、何？』】

樹「（息苦しそうに）ああ……ごめん。やっぱり帰ります……

あなたは、俺の顔も、見たくないよね。

あの後、シフトもずらした……」

【ヒロイン『何を言っていますか。このままの樹くんを放っておけないよ。』】

樹「このままの俺を放っておけないって……やさしい……

（息苦しそうに）では、どこか休憩できる場所を……俺は少し休めば……」

【ヒロイン『ウチはすぐそこだから、あがつて少し休みましょう。』】

樹「（うれしさをこらえるように）あなたの家に？ ……本当にいいですか？

……ありがとう、では、お邪魔します……」

【ヒロインのアパートに向かう二人】

SE：樹とヒロインの足音でフェードアウト



1 ■トラック3

2 ※トラック2の続き。

3 ○場所…ヒロインの部屋（昼）

4  
5 【樹、ヒロインに抱えられ部屋に入る】

6 SE：ドアの閉まる音

7 SE：樹とヒロインの足音

8  
9 DHM：③寄り

10  
11 樹「ちよつと、もう……支えなくていいから……このままだと、あなたを……俺は……」

12  
13 【樹、壁にもたれかかる】

14 SE：壁にもたれる音

15  
16 樹「（息苦しそうに）う……ああ……ダメだ。

17 もう、体が……もたない……はあ……はあ……」

18  
19 【ヒロイン『樹くん！ あと少しでソファーに着きますよ。』】

20  
21 樹「……はあ……はい……ソファーに……

22 （苦笑い 小声で）本当に、ラット中の男を部屋に連れ込むとか、  
23 なに考えてんだよ……」

24  
25 SE：樹とヒロインの足音

26  
27 【樹とヒロインソファーに着く、ソファーに倒れる樹】

28 SE：ソファーに倒れる音

29  
30 【ヒロイン『ここでしばらく休んで、飲み物を持ってきます。』】

31  
32 DHM：①下 やや離れ

33

樹「……はぁ……ありがとう……水で……」

【ヒロイン飲み物を取りに行く】

SE：ヒロイン遠ざかる足音

SE：冷蔵庫の開閉音

SE：ヒロイン近づいてくる足音

SE：ペットボトルの蓋開ける音

D H M：①

樹「……ありがとう……（水を飲む　ゴクン数回）」

【ヒロイン『大丈夫ですか？　そこでなにしてるの。』】

樹「え、そこでなにしてるのって。あなたに会いたくて……」

【樹、話をしながらペットボトルをテーブルに置く。】

SE：ペットボトルの蓋閉じる音

SE：ペットボトルをテーブルに置く音

樹「……あなたの履歴書を見かけて、住所を覚えた。

住所だけでなく、他のことも覚えたよ。ㇿは頭がいいからね……

俺、けっこうそういうの覚えるのが得意だったから、それで……」

【ヒロイン『え?!　なぜそんなことを……』】

樹「……なぜって、会いたかったから!　だからこれもあなたのせい……」

【樹、ヒロインの腕を掴む】

SE：腕を掴む音

【ヒロイン『樹くん……?　何を……』】

D H M…①寄り

樹「……被らないように、シフトずらしたから、

俺は、あの〇の子と一緒に出勤しなければならなかった、

あの子、急に発情したんだ……」

樹「……あの子のフェロモンに当たっても、

あなたのことしか考えられないんだ……

俺はさだ、でも、〇の発情に影響なんてされたくない！

あなたを愛したい……だから俺は……なんとか理性を保って、

あなたのアパートの近くまで……

なあ、俺を連れ込んだってことは、あなただつて俺のこと……」

樹「……んっ……はあ……（色気を出す感じで）ごめん。でも、もう耐えられない……

はあ……はあ……逃げなかったあなたが悪い……うん……はあ……

（強引な感じで　ディープキス5秒）」

【ヒロイン、驚いて暴れる。暴れるヒロインを押し倒す樹】

SE：衣擦れ音

SE：ソファ―に押し倒す音

樹「ん……こら、暴れるな……はあ……はあ……怯えてる？

そうだよ。だって、俺に襲われて……

あなたに会えなくて、寂しかった……」

【樹、ヒロインを抱きしめる】

SE：衣擦れ音

D H M…③寄り

樹「大丈夫。あなたの母親みたいに捨てたりなんてしない！

俺は、あなたの母親とは違うから……

だから、俺を受け入れて……」

1 【暴れるヒロイン】

2 SE：衣擦れ音

3 D H M：①寄り

4 樹「…んっ…なんで、なんで暴れるんだよ！ 絶対に逃がさないからな！

5 ……なあ、俺がこんな姿になってるの見て、どう思った？

6 やっぱり、~~あ~~と~~あ~~は別ものか？ 俺は、ケダモノに見えたか？」

7 【ヒロイン』『……苦しい……』】

8 樹「……苦しそうだったって……

9 （怒りを露に）そうだよずっと苦しい！

10 ~~あ~~ってだけで、ずっとつぺんにいなきやいけない！

11 ~~ひ~~のヒートには当てられる！

12 好きな人には、~~あ~~ってだけでフラれて……

13 俺は、俺らしく生きることも許されない！ あなただったら……

14 優しくしてくれたあなただったら、俺を受け止めてくれると思ったのに！」

15 【樹、ブラウスを無理やり脱がせる】

16 SE：衣擦れ音

17 SE：ボタンのはじけ飛ぶ音

18 【ヒロイン』『……やめてっ…』】

19 樹「やめてって、どの口が言ってるんだよ……

20 自分で、部屋に誘ったくせにさ！」

21 【ヒロイン』『イヤ！』】

22 樹「はは…悲鳴をあげるほど、俺って怖い？ そうだよな。

23 ブラウス無理やり脱がされたもんね……

24 恐くない方が、おかしいよな…」

1 樹「（嘲笑を交えながら）

2 でも、怖がつて暴れられたら厄介だな……

3 そうだ、俺のワイシャツで……」

5 【樹、ワイシャツを脱いでヒロインの腕を拘束】

6 SE…ワイシャツを脱ぐ音

7 SE…ヒロインを拘束する音

9 樹「……はは……これで動けないな、何をしてももう無駄だ」

11 DHM…⑦寄り

13 樹「はあ……はあ……（右耳舐め5秒）……どう……？」

14 好きでもない男に、迫られてる感じ……なあ、どんな感じだよ。

15 母親と同じ、自分を捨てた♀に迫られて……感じてたり、しないよな……」

17 【ヒロイン『……そんなことない……』】

19 DHM…①寄り

21 樹「（嘲笑を交えながら）そんなことないって……

22 でも、ブラジャーの上からもわかるぐらい乳首はビンビンに立ってるよ……

23 真面目そうに見えて、ほら、あなたの乳首……さわってやるから感じてみなよ……」

25 【樹、ヒロインの乳首を弄る】

26 SE…衣擦れ音

28 【ヒロイン『……イヤっ……』】

30 樹「はは。いい声で鳴くなあ……経験済みなのかな？

31 そんなこと話したくないって……

32 でも、こっちに聞けばわかるよね……」

1 【樹、ヒロインの下着を脱いで、手マン】  
2 SE: 下着を脱がせる音  
3  
4 【ヒロイン』……やめてっ…』】  
5  
6 DHM: ①寄り  
7  
8 樹「やめてっって言われて、やめる男がいるわけないだろ。はは……  
9 ほら、やっぱりグチヨグチヨだ……  
10 乳首ちよつとさわっただけなのに、こーんなに濡れちゃって……  
11 ㇿの男は嫌いじゃなかったのかなあ？ はは……  
12 やめてっつて、じゃあ見せてやるよ！ ……ほ、ら……んっ…」  
13  
14 【樹、ヒロインを抱きかかえる 背後から】  
15 SE: 衣擦れ音  
16 SE: 指を挿入する音  
17 SE: 水音適宜（指入れ出したり、搔き回したり）  
18  
19 DHM: ⑤寄り↓⑦寄り  
20  
21 樹「（挑発するように）ほら、アソコに鏡があるじゃないか、  
22 ははは、広げてやるから見ろよ！ 自分の痴態を試してみろよ！  
23 俺の指を咥えて、嬉しそうにひくついでるよ、  
24 もつと…気持ちよくしてやるからな……」  
25  
26 樹「（台詞の合間で右耳舐めしながら）ほら、いい声出して…  
27 ねえ、まだ人差し指しか入れてないのにすっごく締め付けてくる、  
28 期待してるんだな……」  
29  
30 樹「（嘲笑に交えて）  
31 そんなことはないって、鏡の中の自分を見てみなよ……  
32 ほら、下の口が嬉しそうに指を咥えてる、  
33 指の数、増やしてみようか……」

1 樹「(台詞の合間で右耳舐めしながら)  
2 あはは…：すっぱり入っていくなあ…  
3 俺の指、そんなに気持ちいい？  
4 そんなことないって、気持ちよさそうによがりながら言われても…  
5 もっと欲しいんだって、勘違いしちゃうだろ？」  
6  
7 樹「(嘲笑に交えて)  
8 ほら、刺激が欲しいと思うなら動かしてやるよ…：  
9 あはは！ 体がビクってなってる、  
10 俺の指で感じてくれてるんだね。嬉しいなあ…：(右耳舐め5秒)  
11 なあ、振った2の男に犯されるってどんな感じ？ やっぱり、屈辱的…？  
12 でも、気持ちよさそうなのはどうしてだろうな！  
13 ほら、鏡の中のあなたの顔。気持ちよさそうな顔してる…：」  
14  
15 樹「俺に犯されて、喜んでるメスの顔だ…：  
16 はは…新発見だな。2でも2の男に犯されて喜ぶなんて…  
17 本当は、2何じゃないのか！」  
18  
19 【ヒロイン『…やめてっ…』】  
20  
21 樹「ああ！ やめてっつて、叫んでも、  
22 あなたのアソコが指に食らいついて放してくれないんだよ、  
23 (右耳舐め5秒) 2は2とセックスするのは大変だから、  
24 ほら、指の数、もう一本増やしてみようか！」  
25  
26 樹「(嘲笑に交えて)  
27 はは、どこまでいけずに耐えられるかな！  
28 ほら！ ほら！ もっとその声聞かせてよ！  
29 あなたのよがり声、本当に最高だ！」  
30  
31 SE：水音適宜 速く  
32  
33

1 樹「(興奮した様子で)

2 俺を拒絶したあなたが、俺に犯されて喜んでる！

3 俺を受け入れてくれている！

4 そう！ あなたは、2の俺に惹かれてるんだよ！

5 でなきゃ、こんな風に喜ぶもんか！」

6

7 【ヒロイン、潮を吹く】

8 S田：潮吹き音

9 S田：水音止め

10

11 D H M：⑥寄り

12

13 樹「(驚いた様子で) うわ！ なんだ：潮吹き？

14 まさか、ちよつと奥を突いただけでイくなんて……」

15

16 樹「(嬉しそうに) よつぽど、俺に犯されたことが嬉しかったんだな… はは…

17 ……違うって……じゃあ、なんでこんなに濡れたままなんだよ、

18 それにほら、まだ犯してほしいって大切なところがヒクついてる…」

19

20 樹「大丈夫。もつと、気持ちよくしてやるよ……ほら、指、三本目挿れるよ……

21 これが入れば、俺を受け入れても平気だろうね……

22 え？ なにをするつもりって、これの、続きに決まってるだろ！」

23

24 S田：指を挿入する音

25 S田：水音適宜

26

27 D H M：⑥寄り↓③寄り

28

29 樹「(笑いながら) はは！ また体がビクつてなってる、

30 でも残念……まだ潮吹きはナシかあ、

31 じゃあ、吹くようにここも刺激してみようか…

32 可愛いクリストス…… ほら、可愛がつてやるから…」

33



1 【樹、クリストスを弾く】  
2 SE: 肌擦れ音  
3  
4 【ヒロイン『はあっ…!』】  
5  
6 樹「はあ、すごい悲鳴……」  
7 聞いているだけで、こっちがクラクラしてくる……」  
8  
9 樹「(興奮しながら) 本当に、早くあなたに挿れたいよ!  
10 挿れて、犯して、俺の種をあなたの中に吐き出して… (左耳舐め5秒)  
11 それから、それから…ははは…やめてってなに……」  
12  
13 樹「(台詞の合間で左耳舐めしながら)  
14 ほら、鏡の中のアなたはすっごく気持ちよさそうな顔してる、  
15 声だって、ほら…:…すっごくエッチな声が出るよ  
16 俺のこと、誘ってるとしか思えないな…」  
17  
18 樹「(嘲笑を交えながら)  
19 それに、あなたのアソコだって俺の指をずーと奥まで咥えてるよ…  
20 (左耳舐め10秒)」  
21  
22 【ヒロイン、潮を吹く】  
23 SE: 潮吹き音  
24 SE: 水音止め  
25  
26 【ヒロイン『はあ、はあ…:…んんっ…』】  
27  
28 樹「あ、またいい声で鳴いた…  
29 G スポットってヤツをさわっちゃったのかな?  
30 それに、また潮も吹いて……  
31 これ、キレイにしないと… (左耳舐め5秒 フェードアウト)」  
32  
33

1 ■トラック 4  
2 ※トラック3の続き。  
3 ○場所…ヒロインの部屋(昼)  
4  
5 【樹、ヒロインのヴァギナを舐める】  
6  
7 D H M…①下寄り(下半身らへん)  
8  
9 樹「(クンニしながら) ……うん…はあ…うん…  
10 へえ……エロい匂い……それに、舐めてると舌に粘液がひっついてきて…  
11 うん…変な感じ……でも、(微笑む) あなたの愛液、すっごく美味しいよ……」  
12  
13 樹「(クンニしながら) うん…はあ…はあ…ねえ、こんな風に舐められて気持ちいい？  
14 気持ちいいね。だって、すっごくいい声で鳴いてる、  
15 もっとして欲しいって、俺におねだりしてるみたい、  
16 はは…あなたも結局は♀の大好きなメスじゃないか？ 本当に♀なのか？  
17 本当は○で、誤診断を受けたか、自分で性別を偽ってるんじゃないの？」  
18  
19 樹「(クンニしながら) そんなことないって…  
20 じゃあ…うん…なんでこんなに…  
21 はあ…感じてるんだよ…  
22 はあ…はあ…うん…だいぶキレイになった…  
23 でも、アソコの中はまだちゃんと舐めてない…」  
24  
25 樹「(楽しそうに) うん…はは…  
26 穴にちよつと舌を入れただけなのに、気持ちよさそうになって、  
27 ほら、もつとしてやるよ……」  
28  
29 樹「(クンニしながら) うん…はあ…うん…はあ…  
30 凄いなあ…あなたの中が俺の舌を締め付けてくる。  
31 うん…はあ…うん……なんか、そのまま食い千切られそう……  
32 すっごい力…どれだけ物欲しがつてるんだよ…  
33 うん…はあ…うん…はあ…あん……」

1 【樹、ヒロインを抱きかかえる 背後から】

2 SE::衣擦れ音

3 SE::肌擦れ音

4 5 【樹、鏡の方向にヒロインの足を開く】

6 7 DHM::⑤寄り↓⑦寄り

8 9 樹「……ふう……ほら、キレイになったよ……鏡でよく見て。

10 俺に舐められたあなたの大切なところ……

11 これからここに、俺のを挿れてあげるからね……」

12 13 【抵抗するヒロイン】

14 15 SE::衣擦れ音

16 樹「（嘲笑うように）……ほら、暴れたって無駄だ！

17 そうだな……このまま後ろから挿れてみるか、

18 ケダモノみたいで面白いだろうな！

19 やめてって……、どの口が言ってるんだよ！ だったら俺を、助けたりするな！」

20 21 SE::挿入音

22 SE::水音・ピストン音適宜 ゆっくり

23 【背面座位でセックスするふたり。】

24 25 DHM::⑤寄り

26 樹「（嘲笑うように）はは……凄いな……奥まで入っちゃった……

27 でも、締め付けが凄い…… ガバガバじゃない……ねえ、やっぱり、初めて？」

28 29 樹「そんなの言いたくないって……

30 まあ、あなたをやったことあるヤツがいても……はあつ、はあ……

31 これから、上書きするから意味ないんだけどね！

32 33 （ゆっくりピストンに合わせてあえぎ声10秒）」

1 樹「はは！ どう？ 拒絶したＱに犯される気分、

2 悲鳴なんてあげても無駄だよ……んっ、あつ、……

3 誰も助けになんて来ない……

4 あなたが、俺をここに招き入れたんじゃないか

5 だからこれは、自業自得だよ！

6 (ゆっくりピストンに合わせてあえぎ声10秒)「

7

8 【ヒロイン『……違うっ…』】

9

10 D H M…⑦寄り

11

12 樹「……違うない！ あなたは俺のこを受け入れたかったんだ！

13 だから、発情した俺を部屋に招いた！

14 だろ！ そうだろ！ ずっと、ずっと俺のことが気になってたんだろ！

15 気づいてないとも思った？……

16 (ゆっくりピストンに合わせてあえぎ声10秒)「

17

18 樹「……あなたの俺を見る目…恋する女のそれだったよ！

19 あなたは俺に優しくかった……んっ…はあ……

20 学歴とかＱとか関係なく、ひとりの人間として扱ってくれた…

21 だから、あなたなら平気だと思ったのに！ はあ、はあ……うつ…

22 あなたなら、俺のこと……本当の俺を受け入れてくれると思ってたのに……」

23

24 【ヒロイン、首を振る】

25 SE：衣擦れ音

26

27 樹「……なんで、なんで俺を拒絶したんだよ！

28 〆の何が悪いんだよ！ 俺は俺だ！

29 あなたには、〆の俺じゃない、本当の俺を見てほしいんだ！」

30

31 SE：派手めの水音 & 肉を打つ音

32

33 【ヒロイン『……やめてっ…』】

1 樹「(いらだった様子で)やめてって……誰がやめるか!

2 孕ませてやる! あなたを俺のものにしてやる!

3 あっ……んっ……絶対に、誰にも渡さない!

4 ……っ、はあっ。ほら、締め付けが強くなってきた……

5 (激しいピストンに合わせてあえぎ声10秒)「

6  
7 【ヒロイン『あっ、ああっっ……!』】

8  
9 樹「ははっ、あなたも腰振ってる…

10 鏡見て、自分の本当の姿を見るんだ!

11 ほら、俺に犯されて、よがって、嬉しそうに感じてるじゃないか!

12 (激しいピストンに合わせてあえぎ声10秒)「

13  
14 樹「あなたは俺のことが好きなんだよ!

15 俺を求めてやまないメスなんだ!

16 だから、俺を受け入れて! あなたじゃないとイヤだ!

17 ……はあっ……んっ……んんっ……

18 ああー、俺は、あなたを俺のものにしたいんだ!

19 (激しいピストンに合わせてあえぎ声10秒)「

20  
21 樹「ああ! くる! あなたの中に俺の全部をぶちまけてやる!

22 はあ……んっ……はあ、はあっ、やばいつ、

23 あなたを、俺のものにしてやる、あああ!

24 (激しいピストンに合わせてあえぎ声10秒、理性のない感じ)

25  
26 D H M ……⑦寄り↓⑤寄り

27  
28 樹「もう……限界だ! あああああ! あなたが、あなたが欲しい……

29 はあ……んっ……はあ、はあっ、射精しながら、あなたのうなじを囁んってやる、

30 囁んって、俺の番になつて! 俺の番に……!

31 んっ……! あっ、イクっ、はっ、んっ……!

32 (絶頂に向けてあえぎ声20秒) イクっ、イクっ……!

33 (絶頂と同時にヒロインのうなじを囁む、力加減できてない感じ)「

【樹、絶頂する。】

SE：水音止め

SE：射精音（長め）

樹「（息を整える15秒）……んっ…はあ……

（満足げに）うなじ、噛んじやった……

これであなは俺のもの、俺の番……

もう、絶対に放したりしないからね」

樹「（労わる様子で）ああー、噛み跡から血が……

ごめん、気持ちよすぎて力加減が…ごめんね

（噛み痕を舐める10秒）」

D H M…⑤寄り↓③寄り

樹「……んっ…もう大丈夫、血はもう止まった。

……あれ、どうしたの？　なんで、返事しないの？

ああ、気失っちゃったのか？　ごめんね、乱暴にして……

（低い声で、囁き）でも、俺を部屋に連れ込んだあなたが悪いんだ…」

樹「（⑤寄り　噛み痕にキース）この傷跡はしばらく消えない、

これはあなたが俺の番になった印、ずつと残しといてね、

（左耳舐め10秒）あなたは💦だから、この傷跡もいつかは消える…

でも心配しないで……（微笑む）消えそうになったらまた噛んであげる、

癒えなくなるまで噛みつづけるから……」

樹「はは…俺はもう、もう、ひとりじゃない、

俺を見てくれる人が手に入ったんだ…」

【樹、ヒロインを抱きしめ、肩に顔を埋める】

SE：衣擦れ音

樹「顔を覆つた様に、悲しげに笑いながら」

は  
は  
:  
は  
は  
は  
は  
は  
は  
は  
は  
!

やっとな、やっとなに手に入れた……俺だけの……俺だけの……大切な人……

だからもう、俺は~~2~~だからって、頑張らなくていいんだ

好きな人が側にいてくれるから……

これでいいんだ…はは…（悲しげに笑う5秒 フェードアウト）」

■トラック5

※数日後、バイト先の更衣室、樹、ロッカーの前でヒロインを待ち伏せ

○場所…バイト先の更衣室（夕方）

SE：樹の足音 扉越し

SE：扉の開き音

DHM：⑩やや離れ

樹「ふふ、更衣室で、なにやってるんですか？」

【ヒロイン、逃げようとする】

SE：ヒロイン走る音

【樹、慌てで扉を閉め鍵をかけ、ヒロインを抱きし

SE：樹の足音

SE：扉の閉める音

SE：鍵を閉める音

SE：二人がぶつかる音

DHM：①寄り

樹「……おっと、（説得するように）待って、逃げないで！ 乱暴にはしないから……」

【樹、ヒロインを抱きしめる】

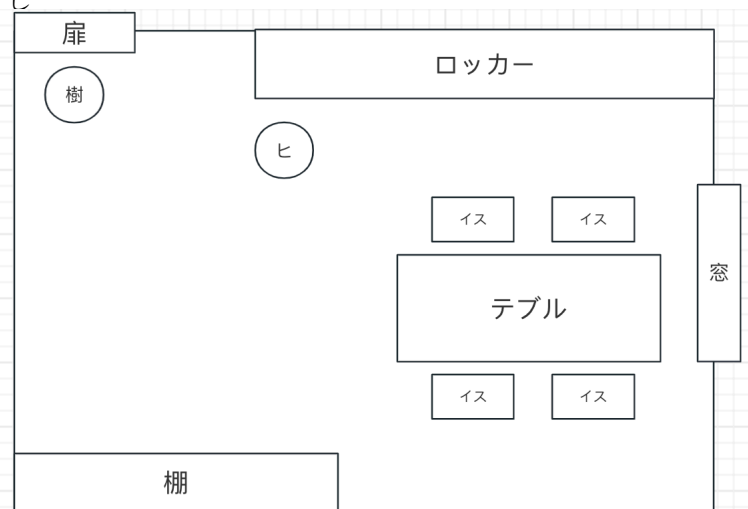
SE：衣擦れ音

DHM：⑧寄り

樹「（囁く）あの日のことが忘れられないから、

更衣室であんなことしてたんでしょ……

でも、俺のロッカーの前でオナニって……」



間取り図



1 【ヒロイン『……違いますっ……』】

2 【ヒロイン、首を振る】

3 SE: 衣擦れ音

4

5 DHM: ①寄り

6

7 樹「あの日から、あなたはずっと俺を避けてた、

8 当たりまえだ、急にあんなことされたんだから……

9 でも、それは俺を誘ったあなたが悪いんだよ

10 ラット状態の俺を、自分の部屋に誘ったりするから、あんなことになったんだ……」

11

12 DHM: ⑦寄り

13

14 樹「（右耳舐めしながら）ほら、あの日のことが忘れられないんだろ？

15 慰めてやるよ……はあっ、んっ……俺たちは運命の番同士なんだから……

16 （右耳舐め10秒）」

17

18 DHM: ⑦寄り↓①寄り

19

20 樹「はあ……んっ。ほら、顔こっちに向けて、

21 せつかくだからこの前できなかったことをしよう、

22 うん……（軽くキス 数回）っ……はあ……

23 俺たち番同士なのにキスも少ししかしてないよね……ほら、愛し合おう……

24 うん……（軽くキス↓ディープキス5秒）」

25

26 【抵抗するヒロイン】

27 SE: 衣擦れ音

28

29 樹「んっ……なに怯えた顔してるの？ もっと、嬉しそうな顔してよ

30 ほら、気持ちよくしてあげる……

31 うん……はあ……あん……（ディープキス5秒 強引な感じで）

32 ……はあっ、どう？ 大人のキス。」

33

1 【ヒロイン』……もう、放して……】

2 SE：衣擦れ音

3 【樹、ヒロインの顎を掴む】

4 SE：肌擦れ音

5 樹「放してつて…そんなこと言わないでつて……

6 (台詞の合間で ディープキスしながら)

7 はは…ほら、もつと、もつと感じさせてやるよ

8 ううん…はあ…うん…ほら、舌を絡めて…啜つて…

9 はあ…うん…そしたら、はん…気持ちよく…あん…なれるから…

10 うん…はあ…うん (ディープキス10秒)」

11 DHM…①寄り↓⑦寄り

12 樹「はは…やっぱり、あなたは俺の運命の番だよ…

13 でなきゃ、俺に無理やりされてこんなに感じてるはずがない…

14 ねえ、俺に犯されたときどんな気分だった…うん… (右耳舐め5秒)

15 (誘惑的に囁く) どんどんどんどん…俺のがあなたの中に入ってきて…

16 中に出されて、種付けされて…ねえ、すつごく、気持ちよかったでしょう？

17 うん…はあ… (右耳舐め5秒)」

18 【ヒロイン』……お願い、放して……】

19 SE：衣擦れ音

20 樹「うん…はあ…放してつて…ダメだよ……

21 あなた、今のままでどうするつもり？

22 体、火照りがとれなくて大変なんじゃないかな？

23 ほら…うん… (右耳舐め5秒)

24 俺が、慰めてあげるから……一緒に、俺のウチに行こう…」

25 【ヒロイン』……イヤ……】

26 SE：衣擦れ音

1 D H M…①寄り

2 樹「(嘲るように)イヤだつていうんだつたら、

3 さつきの事、店長にいつてもいいんだよ……

4 さすがに、店の更衣室でオナニで、ヤバすぎるよ、

5 痴女じゃなきゃ、そんなこと絶対できない……」

6 【ヒロイン『そんなのはしてないっ…』】

7 【ヒロイン、首を振る】

8 S E : 衣擦れ音

9 樹「(嘲るように)そんな事してないって? ははは、確かに、

10 でもㇿとㇿ、店長はどつちを信じると思う? 」

11 D H M…⑦寄り

12 樹「(耳元で囁く) 歯科衛生士になりたいでしょう……

13 あなたが思ってる以上に、歯科業界は狭いよ……

14 俺は医者の家系だと言ったよね。

15 もし、あなたがバイト先でオナニしたってことを、

16 俺がうつかり家族に話してしまつたら、

17 あなたはこれから、歯科衛生士の仕事を見つけれられると思う?

18 ……ねえ、どうする? 俺のウチに来る、それとも……」

19 (3秒の間)

20 【渋々頷くヒロイン】

21 S E : 衣擦れ音

22 D H M…①寄り

23 樹「ふふ…いい子だ。一緒に俺のウチに行こう……続き楽しみだね……

24 (軽くキス数回 フェードアウト)」

■トラック 6

※トラック5の続き、樹のマンションの寝室、話し合う二人

○場所…樹の寝室（夜）

【樹、後方からヒロインに近づく】

SE…樹の足音

D H M…⑬↓⑤

樹「（嬉しそうに）まさか、大人しくここまでついてきてくれるとは思わなかったな……

あなた、ずっと逃げたそうな顔してたもん……

タクシーの中で、マンションに着いたとたん逃げられたらどうしようって、  
ずっと考えてた……でも、杞憂だったみたい……」

【樹、後方からヒロインを抱きしめる、髪の手を嗅ぐ】

SE…衣擦れ音

SE…髪擦れ音

D H M…⑤寄り

樹「（髪の手を嗅ぐ5秒）

（酔いしれるように）はあ……いい香り……

シャンプーなにつかっているの？

それとも、フェロモンの香りかな？

……はそんなの出ないって……ふふ……わからないよ

性別がある日突然変わることってあるみたいだし、

あなた、もしかしたらはになりかけてるのかな？

そうだとしたら、俺と本当の意味で番になっちゃうね……はは……」

【ヒロイン『……そんなはずない……』】

樹「……そんなはずないって、なに怯えているの？

じゃあ、あなたが、はになってないか試してみよっか……」

1 【ヒロイン、ベッドに押し倒される】

SE: 押し倒される音

4 D H M : ①

6 樹「(嘲笑うように) ほら、体の火照りだつてまだとれてないだろ？

7 ちゃんと、責任とるからさ……

8 あれ、ベッドに急に押し倒されてビックリした？」

10 【ヒロイン『……ちよつと待てっ…』】

12 樹「ちよつと待てっ。ヤだよ……

13 俺だつて、何日もあなたに避けられてご無沙汰なんだ、

14 それに、ずつとあなたにふれられなくて気が狂いそうだった……」

16 【ヒロインの下半身に触れる。】

SE: 衣擦れ音

SE: 水音適宜

20 D H M : ①寄り

22 樹「(嬉しそうに) ほら、あなたのココだつて俺のことが忘れられないんだろ！

23 はは、思ったとおりグチヨグチヨだ……

24 ちよつと指触っただけで……はは……いい声で鳴くなあ……」

26 【ヒロイン『……やめてっ…』】

28 樹「(甘々の感じで) やめてっ……また、ウソばかり言つて、ヤダよ。

29 こんなに興奮して濡れてるのに、やめるわけなじゃん

30 やめたら、困るのはあなただよ、

31 だから、慰めてあげる！ ほら、服脱がせてやるよ！

33 【樹、無理やり衣服をはぎ取る】

SE: 服を脱ぐ音 少し時間にかかる

樹「……んっ、ふっ…

(うつとりとした様子で) ああ、もう乳首がこんなに立ち上がって……  
あの日も、俺はあなたの乳首から優しく責めていったんだっけ…  
ほら、こんな感じで……」

【ヒロインの乳首を弄る樹。】

SE: 肌擦れ音

樹「……こんな風にコリコリの乳首を弄って……

いまみたいに、あなたをアンアン鳴かせて……  
でも、乳首の味はまだ試してなかったよね……  
構えなくても大丈夫だよ……  
ちよつと、味見するだけだから……」

D H M ①少し下(胸らへん)

樹「(右乳首舐め5秒) ……んっ、ふっ…うん…はあ……

(楽しそうに) ふふ…やつぱり、母乳とかは出てこないか、だよな。  
妊娠するにしても、まだ出てこないよね(右乳首舐め5秒)  
ひよつとしてって、思ったんだけどなあ……(右乳首舐め5秒)」

樹「……んっ、こちも(左乳首舐めしながら) ……はあ……

それはないって、なに急に血相変えて……  
そっか、ㇿの精子は妊娠しやすいからねえ……  
ふふ…まあ、そんな簡単なはずないよね……んっ…  
だから、何度もある必要があるんだ……(左乳首舐め10秒) ……んっ…はあ……  
じゃあ、続きしようか、あの日みたいに、人差し指から始め、よう、っ…」

【ヒロインの足を広げる樹。】

SE: 肌擦れ音

SE: 指の挿入音

樹「はは…すっごく奥まで入っていくね…

ほら、ズブズブって嫌らしい音までして…

あなたもいい声で鳴いてる、

あの日の続きができて嬉しいんだね、

俺のって、ㇿだから特別デカいんだ…

この前は乱暴にしちやっただけ…

今日は俺のであなたの中が傷つかないように優しくほぐしてあげるね

ほら、もつと、もつと気持ちよくしてあげる…

少しずつ慣らしていこうか…

樹「（楽しそうに）ほら、もつと奥まで突いてあげるよ…

はは！ 切なそうな喘ぎ声もいいねえ…その調子だよ。

あの日思い出して…もつと、もつと、俺を感じて

ほら、中指も増やそうか…

【ヒロイン『…ダメっ…』】

樹「（楽しそうに）どう？ ダメって、何がどういうふうにダメなの？

ほら、説明してくれないとわからないよ…話せないって、どうして？

ああ、俺がこうやってここを弄ってるせい？

ふふ…また、いい声が出るね…ほら、もつと突いてあげる、

はは…さっきよりも気持ちよさそう…じゃあ、薬指も入れてみようか…

SE：指の挿入音

樹「（楽しそうに）あはは…この前のセックスで広がったせいか、

スムーズに入っていくね…ほら、さっきよりずっと奥を指が犯していくよ…

どう？ 今度はどんな感じ？ ああ…もう、話もできないか、

よがり声ばかり上げて…

1 【ヒロイン『んっ、んあっ…!』】

2 樹「ここ、俺がたぐさん弄ったせいでびちゃびちゃだね、  
3 ちよつと舐めてきれいにしようか？」

4 【ヒロイン『……やめてっ…』】

5 樹「脚を広げないとちゃんと舐められないだろ。」

6 ほら、ちゃんとこの前みたいに気持ちよくしてあげるから……」

7 DHM…①下寄り（下半身らへん）

8 樹「（クンニしながら）うん…はあ…うん…はあ……

9 （樂しげに）相変らず凄い量の愛液だなあ……

10 それに、ちよつと味も変つてる気がする、なんか、味の中にいい香りが混じってる。  
11 本当にあなた、囁から口になっちまったのかもね……」

12 【ヒロイン『……そんな、こと、ないっ…』】

13 樹「（クンニしながら）わからないよ……あん…はあ……

14 運命つて案外そういうもんかもしれないし……

15 ほら、うん……もつと、舐めてきれいにしてあげる……

16 うん…はあ…うん……はは……体ビクビクさせて気持ちいいんだな…はあ…う  
17 はあ…うん…はあ……穴の中もキレイにしないと……ううん……」

18 【ヒロイン『はあ、はあ……んっ…』】

19 樹「（クンニしながら）ああ、いい声だ…はあ…はあ…

20 いいよ…、そのまま鳴き続けて……いいよお…はあ……

21 ねえ、俺の舌…あなたの下の口がギュって締め付けてきた、

22 ちぎつたりしないでね…うん…はは……

23 ついでに、こつちもキレイにしてあげる……

24 クリちゃん……ヒクヒクしててカワイイ…うん…はあ…うん……」



【ヒロイン、絶頂をする。】

SE：潮吹き

DH M：①寄り

樹「（嬉しそうに）うわっ！ 凄い！ 潮吹いたね、この前と同じ……

そんなにクリちゃん舐められたのが気持ち良かったんだ、

ねえ、気持ちよかったよね？

そんなの答えられないって、素直じゃないなあ……

じゃあ、次は俺のこと気持ちよくしてよ……」

1 ■トラック7  
2 ※トラック6の続き  
3 ○場所…樹の寝室(夜)  
4  
5 【樹、ズボンのベルトを外す】  
6  
7 SE: ベルトを外す音  
8 SE: チャック音 & 衣擦れ音  
9  
10 DHM: ①上 少し離れ  
11  
12 樹「(うつとりとした様子で) ほら、見て俺の…  
13 これがこの前、あなたに種付けした俺の息子だよ、  
14 あなたのせいでこんなになっちゃってるんだ…  
15 俺も、あの日のことが忘れられなくて…  
16 ずっとあなたを頭の中で犯しながらオナニーしてたんだ…」  
17  
18 【樹、ペニスを弄る】  
19 SE: 水音適宜(手コキ)  
20  
21 樹「はあ…はあ…なあ、俺のここも慰めてくれよ…  
22 俺が、あなたにしてみたいに…そしたら、これ、治まるから…  
23 ほら、さっさと舐めて…もう、限界なんだ…」  
24  
25 SE: 水音(手コキ) 止め  
26 【ヒロイン、フェラチオ開始】  
27 SE: 衣擦れ音  
28 SE: 水音適宜(フェラチオ)  
29  
30 樹「ああ…そう…鈴口…そこ…チロチロってそう…そう舐めて…  
31 あと、筋裏の方もなんか痒いから…早く…ああ…そう…そんな感じ…  
32 もつと、もつと舐めて…しよっぱいって…へえ、先走りって味がするんだ…  
33 ……まだダメだよ…ちゃんと最後までしてくれなきゃ…」

1 樹「……はあ……んっ……ほら、今度は俺の啞えて、顔を前後に動かして、  
2 ちゃんと、俺の吸いながらやってね……ああ！ そう……」

4 SE: 水音適宜 (フェラチオ ディープストローク)

6 樹「あなたの中に入つてるときと同じ感覚だ……ああん……いいよ、その調子……  
7 もつと、もつと動き速くして……そう、それでいいから……  
8 はあ……いいよお……気持ちいい……本当に……最高だあ……ああ……動きが違う……  
9 ちよつと、頭貸して、俺が動かすから……!」

11 【ヒロインの頭を抱きしめる】

12 SE: 髪擦れ音

14 樹「はあ……あああ……はあ……こう！ こう動かして！ もつと、もつと速く！  
15 こう！ こんな感じで！ うああっ……！ はあっ、あっ……！  
16 ダメだ……もう……ごめん、受け止めてくれ……ああ……！ はあ……はあ……  
17 いいぞ、この感覚……もう少しでイけそうだあ！  
18 はあ……はあ……はあ……は、くっ、はあはあ……ああああああっ……っ！」

20 【樹、絶頂をする。】

21 SE: 水音止め

22 SE: 射精音

24 樹「(息を整える5秒) うん……あああ……!」

26 【樹、ペニスを口から抜く、ヒロイン咳き込む】

27 SE: 粘った水音 (ゆっくり引き抜く)

29 DHM: ①上

31 樹「(怒った様子で) なに咳き込んでの……ああ……  
32 飲まないで吐きだしちゃったね……俺の大切な精液……」

1 【樹、ヒロインの顎を掴む】

2 SE：肌擦れ音

3  
4 DHM：①寄り

5  
6 樹「ほら、ちゃんと、口に残った精液も飲んで！」

7  
8 【ヒロイン、精液を飲み込む】

9  
10 樹「（興奮した様子で）はは……ちゃんとごつくんできたな、偉いぞ……  
11 じゃあ、ご褒美をあげないと……」

12  
13 【樹、ペニスを弄る】

14 SE：水音適宜（手コキ）

15  
16 DHM：①

17  
18 樹「はあ…はあ…何するのって、もうそんなの決まってるだろ…  
19 あなたのの中にこいつを挿れるんだよ……」

20 今度こそ、俺の子どもを孕ませてやる、だから、俺を受け止めて！  
21 ほら、脚開いて……俺のちんこぜんぶ、ぶち込んでやるよ……」

22  
23 【ヒロイン『さっきのはもう充分だろう、もう、いやだっ……』】

24  
25 樹「（嘲笑いながら）イヤだって？……充分っんなわけねえだろ……  
26 もう聞き飽きたよそれ！ ほら、こっち来い！」

27  
28 SE：水音止め

29  
30 【樹、ヒロインを抱き寄せる】

31 SE：ベッドの軋み音

32 SE：シート擦れ音

33 SE：挿入音

【寝バックでセックスするふたり。】

D H M…⑤寄り

樹「んっ…はぁ……（嘲笑いながら）はは……二回目だからかな…

すんなり入っていく………はぁ……んっ、んっ…

あーっ、ねえ、俺と何もしない間、他の男と体の関係とか持つてないよね？」

【ヒロイン『……そんなこと、ないっ…』】

樹「そっか、ずっと、俺としたくて我慢してたんだね……

ご褒美に、今日はいっぱい種付けしてあげるよ！

（ゆっくりピストンに合わせてあえぎ声10秒）」

D H M…⑤寄り↓③寄り

樹「……はぁ……どう………ゆっくり責められて、俺に犯されてるってよくわかるでしょ？

ほら、俺の息子がさ…あなたに締め付けられてすっごく苦しそう…

ああ……でも、そのたびに、メチャクチャ興奮して固くなってるの、

自分でもわかる……（左耳舐め10秒）はっ…んっ…

あなたとひとつになれて、俺すっごく嬉しいよ、

ねえ、あなたもそうでしょう？

ほら、もっとスピードあげるからさ、俺を感じて……

（左耳舐めしながら ピストンに合わせてあえぎ声10秒）」

樹「（台詞の合間で左耳舐めしながら）

はぁ…はぁ…いいよ………すっごく締め付けてくる………その調子だよ…

その調子で、俺をどんどん追い詰めて、

そうすれば、もっといっぱい俺の精液、出るから！

（ゆっくりピストンに合わせてあえぎ声10秒）」

1 樹「……んっ、はあ……そしたら、あなたが妊娠しやすくなるから、  
2 あああ！ はあ……気持ちいい……  
3 （ゆっくりピストンに合わせてあえぎ声10秒）」  
4  
5 樹「こんなに気持ちいの初めてだ！  
6 はああ！ 嬉しいよ、あなたが俺を受け入れてくれて！  
7 ……っ、んんっ……！あなたはずつと俺のものだ！  
8 俺のものになるんだ！ ああ！ ダメだ、もう、出そう…  
9 （絶頂に向けてあえぎ声20秒）  
10 はあっ、くっ……イク……はあっ、あっ、ナカにつ……！  
11 あっ、イクっ、はっ、んっ……！ あ、ああああ！」  
12  
13 【樹、絶頂をする。】  
14 SE…水音止め  
15 SE…射精音  
16  
17 樹「（息を整える10秒）はあ……はあ……ああー……こんな早く出ちゃうなんて…  
18 俺、こんなに草漏だったっけ……  
19 なんか、興奮しすぎて体がおかしくなってる……」  
20  
21 【再びピストンを始める樹】  
22 SE…派手めの水音  
23  
24 樹「はあ、んっ……でも……もう、復活して来ちゃった……  
25 （左耳舐め10秒）ねえ、これ、責任とってね……  
26 また！ 俺のこと気持ちよくして……」  
27  
28 DHM…③寄り↓⑤  
29  
30 樹「ああ！ 気持ちいい！  
31 ねえ、顔みせて！ あなたのよがつてる顔！ 見たい……」  
32  
33

1 【樹、ヒロインの顔を自分に向ける】  
2 SE：肌擦れ音  
3  
4 【ヒロイン『んっ…』】  
5  
6 DHM…⑤↓①寄り  
7  
8 樹「（うつとりとした様子で）ああ……気持ちよさそう！  
9 最高に良い顔してるね！  
10 あなたも俺と同じぐらいすっごくすっごく感じてるんだ！  
11 こんなに感じ合ってるんだもん、俺たち、やっぱり、運命の番なんだよ！  
12 ああ……大好きだ！ 好き！  
13 うん……はあ……うん……（ディープキスしながら ピストンに合わせてあえぎ声10秒）  
14  
15 DHM…①寄り↓⑥寄り  
16  
17 樹「んっ……はあ……ねえ、言つて。俺のこと好きって言つて……ああ……  
18 そんな叫ばなくてもいいよ、ちゃんと、伝わってるから！  
19 あなたと俺は思い合ってるんだ！  
20 やっぱり、俺たちは結ばれる運命なんだ！  
21 （ピストンに合わせてあえぎ声10秒）  
22  
23 樹「ああ……また来た……早い……  
24 はあ……んっ……でも、でも、受け止めて！  
25 俺のこと……受け止めて！  
26 （1分ほど激しいめの呼吸のみ）  
27 はあ、んっ……いくっ……あっ、んっ……！ いくっ……！ あああん！」  
28  
29 【樹、絶頂をする。】  
30 SE…水音止め  
31 SE…射精音 勢いよく↓段々弱く  
32  
33 DHM…⑦寄り

1 樹「（息を整える10秒）はあ……はあ……まだ出てる……から、気持ちいい……

2 （何度か唾ゴクン）っそれに、まだいける！

3 ねえ、もつと、もつと出すからね。

4 俺の子どもをちゃんと孕めるようにしてあげるから！

5 だって、俺たち愛し合ってるんだからいいよね！

6  
7 【ヒロイン』……もう……して……』】

8  
9 樹「……してって、俺をやつと受け入れてくれた！

10 いいよ、もつと、もつと気持ちよくしてあげる！

11 （右耳舐め10秒）

12  
13 【再びピストンを始める樹】

14  
15 SE::派手めの水音 & 肉を打つ音 激しく

16  
17 樹「あー、いい。俺のちんこ、もう慣れた？ ナカで吸い付いてくれんの。

18 ……はあっ…んっ…っ…変な気持ちになる……もつと、もうつと……

19 ギュウギュウって、ナカ締め付けて……（右耳舐め10秒）

20 俺を、求めて……ああー、俺を、愛して……！ はあ、はあ……

21 （激しいピストンに合わせてあえぎ声10秒）

22  
23 【ヒロイン』……もう……ゆる……して……』】

24  
25 樹「……はあっ、んっ…（動きを止め）許してって、何を言っつ…

26 ああー、キス、キスして欲しい？

27 いいよ、しよう……いっぱいしよう！

28  
29 【樹、ヒロインの顔を自分に向ける】

30 SE::肌擦れ音

31  
32 DHM::①寄り

33



1 樹「はあ…あん…はあ…あん…（ディープキス5秒）  
2 気持ちいいよ、こんな気持ちいいキス初めてだ…  
3 （ディープキスしながら ピストンに合わせてあえぎ声10秒）」  
4  
5 樹「…んっ、ああっ…もう、とっくにおかしくなってるのに…  
6 ああ！ もうちょっと！ もうちょっとでくるから！ はあ…あん…はあ…  
7 （ディープキスしながら ピストンに合わせてあえぎ声10秒）」  
8  
9 D H M…①寄り↓⑤寄り  
10  
11 樹「んっ…はあっ、あなただから、  
12 受け止めて、俺の愛を…あなたじゃないとダメなんだ…  
13 あー、前の噛み跡、もう消えそう…  
14 もう一回噛んであげる、今回は、前より深く、前より消えにくく、してやる…  
15 あなたは俺の物の証、俺の番の印…  
16 射精しながら、噛んでやる、俺を、ちゃんと、感じて…  
17 （激しいピストンに合わせてあえぎ声10秒）」  
18  
19 樹「んっ…はあっ、ナカ、すっげえ締まってる…  
20 子宮も、嬉しそうに、きゅんきゅんしてるの感じるっ。  
21 あっ…んっ…身体ビクビクしてきた…気持ちいい？  
22 俺の番になって、嬉しい？  
23 ああ……愛してる、愛してる！ もっと、俺を、愛して…  
24 （絶頂に向けてあえぎ声20秒、理性の無い様に）  
25 ああ！ くる！ くるよ！ あなたは、あなたは俺のものだ！  
26 ああ！ ああああああ！ うんっ…  
27 （絶頂と同時にヒロインのうなじを噛む、力強く）」  
28  
29 【ヒロインと樹、絶頂をする。】  
30 S E…水音・ピストン音止め  
31 S E…ベッドのสปリング止め  
32 S E…射精音 ドロドロ  
33

1 樹「(息を整える15秒) はあ……はあ……これで、これで孕んだかなあ…  
2 あなたが俺のものだってこと、ちゃんと証明できるように……  
3 はは、噛み痕、くつきりついちゃったね……  
4 (噛み痕を舐める10秒)  
5 これで誰も、あなたに手を出せない……  
6 (噛み痕を舐めながら) 大丈夫。消えたら、またつけてあげるから、  
7 もう、あなたは俺のものなんだ……  
8 ずとずと、俺の側にいるんだ……  
9 (噛み痕に軽くキス 数回)」  
10  
11 【樹、ヒロインの顔を自分に向ける】  
12 SE: 肌擦れ音  
13  
14 DHM: ⑤寄り↓①寄り  
15  
16 樹「ねえ、キースしよ……ねえ？  
17 はは、また気失っちゃった……  
18 2とのセックスは大変だから、よく頑張ったよ  
19 ゆつくり休んで、おやすみ(軽くキス 数回)」  
20  
21 SE: 粘った水音(引き抜く)  
22  
23 (5秒の間)  
24  
25 【事後、目覚めるヒロイン、話しかける樹】  
26 SE: シーツ擦れ音  
27  
28 【ヒロイン『……ん、んっ…』】  
29  
30 DHM: ②  
31  
32 樹「(うつとりとした様子で) あ、起きた？ ……心配しなくてもいいよ…  
33 体はもうきれいにしてあげた、シーツも変えたよ」

1 樹「はは、あなた、ずっと寝てって、きつと疲れてだんだん。

2 ねえ、凄く気持ちよかったね……

3 あなたも最初は嫌がってたのに、途中からすっごく俺のを締めつけてくれて…  
4 何度も好きって言って、俺はあなたの中に愛を注ぎ込んで……

5 ねえ、これからずっと一緒にいようね、俺たちは、運命の番同士なんだから……  
6 ……ねえ、なんで何も言ってくれないの？ あんなに愛し合ったのに……」

7  
8 【ヒロイン『もう、満足した？ お願い…これからは、私を忘れて………』】

9  
10 D H M…②↓①

11  
12 樹「（動揺した様子で）満足した？って、私を忘れて、って、ということだよ……

13 あんなに、俺のこと好きって言って……求めてくれて……」

14  
15 【ヒロイン『あんなこと言っていない！』】

16  
17 樹「……言っていないって……ねえ、なに言いだすの？

18 俺たちやつと結ばれたのに、なんでそんな…俺を、突き放すようなこと…

19 なんだよ……訳わからなえよ！」

20  
21 樹「（嘲笑しながら）はは、そうか…わかった。だったら、体でわからせればいいんだ……

22 いいよ、これから時間をかけて、ゆっくり好きになって、

23 なんて拒絶しても、体で教えてあげるから……あなたはもう逃げられない……」

24  
25 【ヒロインを抱きしめる】

26 SE：シート擦れ音

27  
28 D H M…③寄り

29  
30 樹「（悲しそうに、無力な感じ）ずっと、俺と一緒にいるんだ、

31 永遠に俺の番として生きるんだよ……

32 （①寄り 軽くキス数回 フェードアウト）」

33

（終）